

No.

7

令和6年5月31日

午前・午後 10 時 13 分

令和6年5月31日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 中橋 友子



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
1 ゼロカーボンの推進について	<p>「地球沸騰化」と言われるまで気候危機は進行し、気象庁は今年の夏も高温が続くことを予測しています。</p> <p>産業革命以来、人間の活動によって長期に排出されてきた温室効果ガスは極めて深刻であり、2015年に採択されたパリ協定は「気温の上昇を2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力を追求する」ことを掲げ、2050年までに脱炭素社会の実現を目指しています。</p> <p>しかし、昨年1年間の世界の平均気温は、産業革命時比で1.48℃上昇（コペルニクス気候変動サービス発表）し、パリ協定の実行は待ったなしの現状です。</p> <p>幕別町では、今年2月に「幕別町地球温暖化対策実行計画」を策定、3月には「ゼロカーボンシティ まくべつ」を宣言し、2050年までに脱炭素社会の確立をめざし本格的に始動しました。</p> <p>計画は、産業、業務、家庭、運輸、廃棄物の部門ごとの削減目標が掲げられ、森林吸収や都市緑化の推進目標も明示されています。まさに全町民挙げての一大事業であり、町民と計画を共有し、一体となった政策の推進が目標達成の要になると考えます。</p> <p>実施には費用の負担も生じてきますが、町民の暮らしの現状は物価の高騰に加え、30年間経済が成長せず実質賃金は低下し、コロナ禍の影響から脱し切れていない事業者も存在しています。事業を推進する中で仕事も雇用も生み出せる循環型の経済になることを期待し、以下具体的な取組を伺います。</p>

<p>2 ごみ焼却の減量化を</p>	<p>(1) 計画の住民への周知と協力について</p> <p>① 計画の策定において、住民の声をどこまで反映したのか。</p> <p>② 計画の住民への周知と協力の手立ては。</p> <p>③ 環境家計簿を普及する考えは。</p> <p>(2) 2030年までの二酸化炭素46%削減の具体化について</p> <p>① 公共施設や公用車両など公共分野の取組は。</p> <p>② 個人事業者や住宅への太陽光発電機器設置等の普及と、助成のための支援策は。</p> <p>③ 再生可能エネルギーの取組は。</p> <p>④ 森林吸収、都市緑化の取組は。</p> <p>(3) 十勝圏全体で再生可能エネルギーの取組は進んでいるのか、また現状と今後の見通しは。</p> <p>二酸化炭素削減には、生産活動によって生じる廃棄物や家庭から出されるごみの処分の在り方も問われてくる。</p> <p>OECD加盟国34か国では、日本のごみの焼却率は一番高く、世界では資源化が趨勢とされている。</p> <p>全国では、焼却せず資源化に取り組む自治体があり、幕別町においてもゴミの焼却から資源化に本格的に取り組むとともに焼却に係わる多額の費用を削減すべきであるが町の考えは。</p> <p>また、幕別町廃棄物減量等推進審議会の議論と取組についても伺う。</p>
--------------------	--

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。